



# 米作り体験学習

---

- (1) 日程
- (2) 田植え
- (3) 観察記録・経過報告
- (4) 稲刈り・脱穀
- (5) 収穫まつり

---

主催 東京武蔵府中ロータリークラブ  
共催 府中かんきょう市民の会  
後援 国際ソロプチミスト 東京 - 府中

---

## 米づくり体験学習日程表

実行委員会

学習現場 東京農工大学農学部フィールドサイエンスセンター  
府中市本町水田

月	土	日	時 間	場 所
5 月	(22) 29	23 30	10:00 ~ 12:00	府中グリーンプラザ 6階 第2会議室
6 月	(5) 12 19 (26)	6 13 20 27	10:00 ~ 12:00	田植え (現場)
			10:00 ~ 12:00	上記場所 第一回観察会
7 月	3 10 (17) 24 (31)	4 11 18 25	10:00 ~ 12:00	上記場所 第二回観察会
			10:00 ~ 12:00	上記場所 第三回観察会
8 月	(7) 14 21 (28)	1 8 15 22 29	10:00 ~ 12:00	上記場所 第四回観察会
			10:00 ~ 12:00	上記場所 第五回観察会
9 月	4 11 18 (25)	5 12 19 26	10:00 ~	上記場所 第六回観察会
10月	2 9 (16) 23 (30)	3 10 17 24 31	10:00 ~	上記場所 第七回観察会 < 稲刈日 >
			10:00 ~	上記場所 第八回観察会 < 脱穀の日 >
11月	(6)			収穫祭 大國魂神社 結婚式場 参加者の感想文発表会 昼食会 ~ 懇談会
感想文 まとめ				

# 米作り体験学習経過

日時	内容	稲の丈(cm)	分けつ(本)	籾数(1穂)
6月5日(土)	<p>いよいよ田植。皆さん張り切っておりました。                      本林先生より苗の取り方、苗の植え方などの説明を受けて苗間に入り、一本ずつ苗を取り50をわら一本でまとめて縛り一束としました。                      取り終わった順に田植する水田へ向かいました。                      面積(250m<sup>2</sup>)、幅10m、長さ25mの大きさの田んぼに向かい合って植え始めました。                      不慣れな子供達は泥が軟らかいと深い(30cm)のとで、足が思う様に動かない中で植えました。植えてはなしても、水の中か、泥の中か、本当に植えたのか判らない状況でした。                      尻もちをつく手もありました。泥だらけの子もありました。                      保護者、当クラブ会員、協力団体の皆さんも田植を体験することができました。                      羽二重の様にやわらかい泥に気持ち良い人、気持ち悪い人、いろいろの音が聞こえてきました。笑いと歓声の楽しい雰囲気の中、無事植え終わることができました。</p>	20ぐらい(苗)	一本植え	——



# 米作り体験学習経過

日時	内容	稲の丈(cm)	分けつ(本)	籾数(1穂)
6月26日(土) 第一回観察日	生育の観察。稲の40cm位 分けつ4~5本 微生物:ミジンコ、豊年エビ、小生物等の観察。 梅雨の短く気温の高い日が多く稲の生育には適した良い年になりそうです。・・・と予測した。	40	4~5	————
7月17日(土) 第二回観察日	分けつ期の観察。稲の丈60~75cm 分けつ15~23本 一本植えた苗が自然の力で増えたのに参加者もびっくりした。親子で熱心に手に採り観察した。 オタマジャクシに足が出始めた。自宅に持ち帰る生徒もいました。虫好きの子供たちは、毎日虫かごとあみを持ってきます。	60~75	15~23	————
7月31日(土) 第三回観察日	幼穂形潮の観察。稲の丈95~102cm 分けつ23~25本 この頃は、土用干し(中干しとも云う)をする禰の分けつを抑える。 田んぼの中が湯き土に割れ目が出る。とにより土中に空気が入り稲の根に酸素が送り込まれる。それにより根ぐされを防ぐ。 最近では、コンパインが大型化してきたので地面を硬くする意味もある。 稲は止葉が出て、根元には幼穂ができる。 穂はらみへと成長して行く、少し上がった所に穂の形ができる。 モノアライガイ(淡水性の貝)発見。当水田は、農薬を一切使用しないので虫類が多く観られる。 天候に恵まれて春の予想より生育は良く、8/7には、出穂が観られそうです。	95~102	23~25	————
8月7日(土) 第四回観察日	出穂(しゅっすい)開花稲の丈120~130cm 分けつ止まそ一株に数本の出穂が見られる。穂の先より開花して行き最後まで4,5目で順調に開花する。 (花の命は短く約2時間位で閉じる) 受精力膏進行するこの時は、太陽が絶対に必要な時期です。 幼穂功出穂まで1~2週間) 一穂に付く籾(もみ)は、100粒~180粒一株で10本~15本の完全な穂を付ける。 稲ツト虫(一文字セセリ)発見。稲の茎の中に幼虫が入り成長して1.5cm位、薄茶色の三角形の蝶(ちょう)になる。	120~130	止まる	100~180
8月28日(土) 第五回観察日	登熟(とうじゅく)期の観察。受精が元了。 太陽の光が葉に当たり光合成で作られた養分が種子に送り込まれる。 乳熟(にゅうじゅく)した実を雀(すずめ)が好んでたべる。 一穂に付く籾は、約100~180粒でこの内成熟する実は80~90%です。(参加者には各自一穂を持ち帰るよう手渡されました) 宿題>手渡された穂の籾の数で、一株20本、一列50株、100列では、何粒の米がとれますか? 雀除けのテープ張りを8/30実施 夜台風16号で切れ、翌日31日に張り直した。	120~130	————	100~180

# 米作り体験学習経過

日時	内容	稲の丈(cm)	分けつ(本)	籾数(1穂)
9月25日(土) 第六回観察日	<p>成熟期の観察。蓮華草の種まき同時開催。                      稲は前回と同じ本数すべてが良穂に生育しておりました。春の予測通り、豊作となります。こしひかりは茎が弱く倒れ易い品種との事ですが、その他原因は稲穂が稔り重くなると倒れ易くなったり、肥料の配分など諸々のことが重なって起こったりするそうです。                      今年は特に台風風の風でよく倒れました。台風18号9/13,10/9と8月を含め3回被害を受けました。                      8月末より張った雀除けテープも3回ともぼろぼろに切れて再々度(9月25日(土))張替えをしました。雀は隣の箱へ移った様でした。効果があったが、隣へ追いやっただけで、良かったのか? 当クラブが後援しているソロプチミスト府中主催の蓮華草の種まきが行われました。                      霧雨の中、田んぼの土はしめりがあり、土は耕やされ、細かく砕かれて準備されておりました。本林先生より種の蒔き方の説明を受けて、始めました。                      蓮華草の種まきには最高の良い日でした。参加者全員が容器に入れた種を程よく広げて蒔きました。                      府中市野口市長、農工大学 神田尚俊副学長が蓮華草の種まきに参加しました。</p>	120~130	——	100~180
10月16日(土) 第七回観察日	<p>黄熟期の稲刈り。本林先生より稲刈りについての指導を受ける。                      &lt;稲の刈り方&gt;                      右手に稲刈り鎌をにぎる、左手で稲株を持つ、小指を下側に向こう倒より自分側へ指を廻してしっかり握り、高さは30cm位の所。10月16日(土)鎌は向こう側より前後させながら手前に引き、やや斜め上に刈り取る。切れ味良く刈り取る事ができました。                      穂刈り鎌は株を刈り切ったらその場で土に立てて突き刺しておいて、稲株は後ろ側の束ねるところに置く。5株で一束にしました。                      子供達と一緒に大人達も全員稲刈りを楽しむことができました。竹捧ではざを作り、稲束を子供達も一緒に運び、はざに掛けました。稲は自然乾燥にして、脱穀の日を待ちます。雀よけのネットで覆いました。</p>	120~130	——	100~180
10月30日(土) 第八回観察日	<p>稲の脱穀。蓮華草の観察。                      朝、8:30ころ雨が降り出し、保護者より実行されるか心配しての電話が数件ありました。雨の時は建物の中で脱穀、籾すりができる配慮をして下さりました。前日、稲束は建物の中に取り入れておりました。                      脱穀については個々に手を取り指導して下さいました。緊張した表情で稲を脱穀機に差し入れ、粒がぱらぱらと落ちる音がして、稲束は籾と分離してわらとなりました。                      10月30日(土)籾すり機はとても可愛い小型でしたが、上より入れた籾が直ぐ第八回観察日に、玄米と籾がらと分離しました。楽しそうでした。                      先生が玄米を良い米と、実りの悪い米とを選別器を使用して分類する作業はプロの技でした。参加した大人も脱穀ができた事に満足でした。                      収穫した玄米(もち米)の内より、約24kgを本林先生より贈呈を受けました。お米は白米にして収穫まつりの食卓へと...                      当クラブが後援しているソロプチミスト府中主催の蓮華草の観察会を行いました。種まきから35日、草花の形になり、緑の葉も増え生長しておりました。遠くから見ると田んぼ一面がだいぶ緑に見える様になりました。</p>			

# 米作り体験学習経過

日時	内容
<p>11月6日(土) 収穫まつり</p>	<p>育ち行く新世代と共に米作り体験学習。収穫まつり。 大國魂神社参集殿(結婚式場)にて午前10時より行います。</p> <p>出席者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米作り参加者全員</li> <li>・協力団体の代表者</li> <li>・お客様 野口 忠直市長</li> <li>・ " 東京農工大学 農学部 FSセンター センター長 板橋 久雄様</li> <li>・ " 同大学 農学部 FSセンター 先生 本林 隆様</li> <li>・ " 府中市立矢崎幼稚園 主任 堀江恵美子様</li> <li>・ " 府中市立矢崎小学校 PTA副会長 宮川 明美様</li> </ul> <p>お客様はお世話になった方々です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 会長、実行委員長、お客様のご挨拶を戴きます。</li> <li>* 米作り体験学習に参加しての感想文を発表して戴きます。</li> <li>* 昼食会～歓談～</li> </ul>